

アビリティガーデン・ホームページの利用について (能力開発データベースを利用した相談・援助業務の展開)

生涯職業能力開発促進センター 普及啓発課

1. はじめに

生涯職業能力開発促進センターのホームページは、「アビリティガーデンからのお知らせ」、「アビリティガーデン紹介」、「能力開発相談受付」、「セミナー紹介・受講予約」、「アビリティガーデンの求職者情報」のほか、全国の能力開発コース等の情報をデータベースに構築し、さまざまな情報の発信および提供を行っている。

当センターの能力開発データベースを利用した相談援助業務等の活用について紹介する。

2. 能力開発データベース構築の目的

企業が長期にわたって活動を継続し、人的資源を有効に活用していくためには、体系的・段階的な能力開発を行っていく必要がある。また、労働者の職業生活のなかで自己の能力を十分発揮し続けるためには、将来の展望に立って主体的に能力開発を行っていく必要がある。このため、職業能力開発施設としては、①計画的な能力開発プログラム作成の援助、②自ら能力開発を目指す者に対する情報の提供、③情報を活用した相談援助等を支援していく体制を整えることが、一層重要になっている。

そこで当センターでは、能力開発に関する中核的な情報を収集するとともに、収集した情報を整理体系化して、データベースを構築している。これら情報の活用は、公共職業能力開発施設をはじめ各種教

育訓練機関、企業的能力開発担当者や在職者、求職者等に発信・提供するほか、雇用・能力開発機構の都道府県センターや能力開発施設における能力開発に関する相談援助ツールとして活用することを目的として、能力開発データベースを構築している。

3. 能力開発データベースの構成

能力開発データベースの全体構成は、図1のとおりであり、生涯職業能力開発促進センターのホームページ (<http://www.ab-garden.ehdo.go.jp/>) にアクセスし、下記の各種情報が取り出せるようにしている。

(1) 能力開発・教育機関情報

全国の能力開発・教育機関約3,000機関についての情報を収集し、提供している。この情報は「機関名」、「機関の所在地」、「能力開発分野」で検索し、能力開発機関の事業内容、特徴等をつかむことができる。さらにその機関で実施している能力開発コース・講師・教材等の情報も簡単に入手できる。また、能力開発機関のホームページとリンクしており、より詳細な情報を得ることができる。

(2) 能力開発・教育コース情報

(1)の機関において実施されている社会人向けの能力開発コース(約22,000コース)を「コース名」、「学習形態」、「コースの認定状況」、「コースの開催地」、「能力開発分野」で検索し、能力開発コースの内容・特徴・実施時期・受講料等がわかる。その能力開発コースを実施している機関等の情報を入手できる。

(3) 講師情報

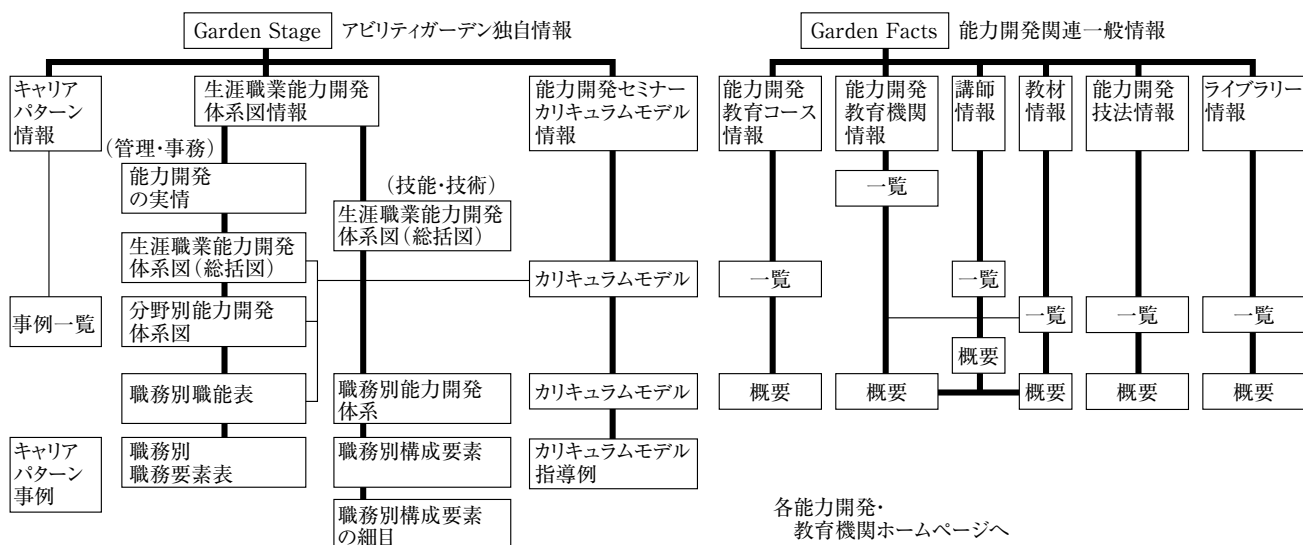


図1 能力開発データベースの構成図

(1)の機関において実施されている能力開発コースを担当する講師(約5,000名)を「講師名」,「講師の連絡先住所」,「能力開発分野」で検索し,講師の専門分野・略歴・講師料等がわかる。さらに講師が所属している機関等の情報を入手できる。

(4) 教材情報

(1)の機関において実施されている能力開発機関が市販している教材(約3,600冊)を「教材名」,「内容」,「教材タイプ」,「能力開発分野」で検索し,教材の内容・販売元・価格等がわかる。さらに教材を発売している機関等の情報を入手できる。

(5) 生涯職業能力開発体系図情報

産業別,階層別に整理された職務の内容について,生涯職業能力開発体系での能力開発分野を基本に提供することにより,将来の職位における職務を明確化し,必要な能力開発の内容とレベルを明らかにするものである。

生涯職業能力開発体系図を「専門分野」と「産業」で検索し,産業ごとに業界の特徴・課題・能力開発の実情が把握できる。さらに,詳細情報のほか,職務分析に基づいた各種産業・業種のモデル的な研修体系が入手できる。

(6) キャリアパターン情報

職務ごとにモデルとして構成される体系図情報に

盛り込まれていない個々人のジョブローテーションの事例を収集し,体系的に整理したものである。

キャリアパターンを「業種」,「能力開発分野」で検索し,生涯職業能力開発体系図情報と関連して,人材育成のためのキャリア形成事例が入手できる。

(7) 能力開発セミナーカリキュラムモデル情報

当センター等機構で開発したカリキュラムを能力開発分野,階層ごとに体系的に整理したものである。

能力開発セミナーカリキュラムモデルを「コース名」で検索し,生涯職業能力開発体系図と関連して,自社で研修を企画・開発するための研修カリキュラムモデルが入手できる。

(8) 能力開発技法情報

研修の目標を効果的に達成するための技法で概要,特徴と効果,活用の仕方などが入手できる。

(9) その他情報

当センターが所蔵する図書・ビデオ等に関する「ライブラリー情報」がある。

4. 能力開発データベースの活用

能力開発データベースに登録している各種情報を活用した相談・援助の概要は,図2のとおりである。

(1) 職業訓練指導員や事業主団体・企業の能力開

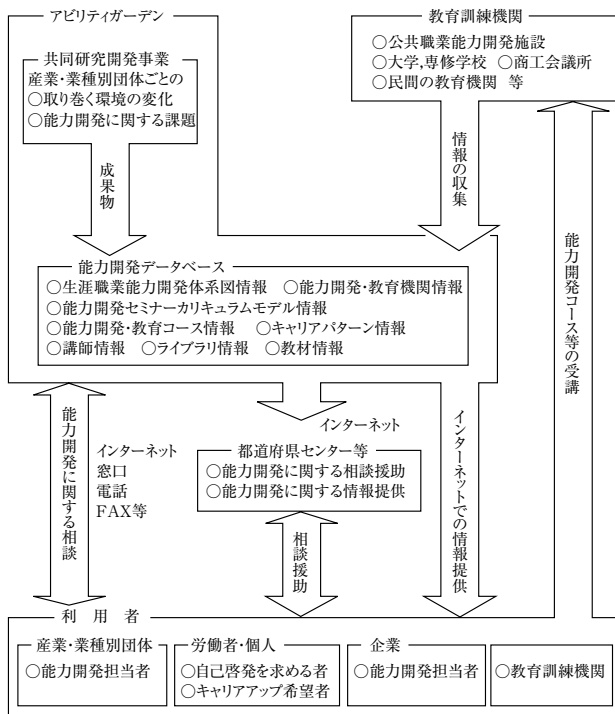


図2 情報の提供・相談援助

発担当者自らが活用

事業主団体・企業的能力開発担当者等が自ら能力開発のプランを策定する場合には、インターネットを通じて能力開発データベースにアクセスし、都道府県別または都道府県の複数指定による任意の地域および能力開発分野等で検索することにより、能力開発機関情報・能力開発コース情報・講師情報・教材情報等の必要とする情報を得ることができる。

また、能力開発データベースから得られる機構自ら作成した生涯職業能力開発体系図情報・能力開発セミナーカリキュラムモデル情報等を検索することにより、研修体系等を策定する場合のコンテンツとして使用し、より具体的な能力開発プランを作成することができる。

(2) 自己啓発を目指す個人自らが活用

自己啓発を目指す者が能力開発コース等の情報を知りたい場合には、インターネットを通じて能力開発データベースにアクセスし、都道府県別または都道府県を複数指定することによる任意の地域および能力開発分野等で検索することにより、能力開発機関情報・能力開発コース情報等の必要とする情報を

得ることができる。

(3) 能力開発施設・都道府県センター等での相談援助ツールとしての活用

能力開発データベースをあらゆる角度から検索することにより、事業主団体・企業に対しての生涯職業能力開発体系図の作成および自己の能力開発を目指す方々の相談に対する各種情報の提供等の相談援助ツールとして活用できる。

具体的には、事業主団体・企業的能力開発推進者等からのホワイトカラーの能力開発に関する相談について、生涯職業能力開発体系図（総括表）情報を中心に順次検索を行い、分野別能力開発体系図情報、キャリアパターン情報、職務別職能情報および能力開発セミナーカリキュラムモデル情報等に関連づけて提示しながら相談援助を行い、その団体等の生涯職業能力開発体系図や実際に行われている能力開発コース情報および当該コースを実施しているので能力開発・教育機関情報等を提供することができる。

また、自己の能力開発を目指す方々の相談に対して、都道府県別または都道府県を複数指定することによる任意の地域および生涯職業能力開発体系での能力開発分野等を選択し、能力開発データベースを検索することにより、能力開発機関情報、能力開発コース情報等の必要とする情報を得ることができる。

5. おわりに

能力開発データベース情報は、インターネットを利用して「いつでも、どこでも、だれでも」必要な情報にアクセスできるように作られている。利用者にとって最も使いやすく、最新の情報を提供するという重要な役割を担っている。

さらに、項目の見直し等を行い、利用者に満足してもらえよう更なる改善を図ることとしている。

